Mémoires 2016

ヴィクトリアマイル

栄光への花道を一直線

第11回ヴィクトリアマイル(GI) 優勝馬 ストレイトガール

2016年の古馬牝馬マイル女王決定戦には、出走馬18頭中、7頭がGI馬という豪華メンバーが揃った。人気は牝馬二冠の4歳馬ミッキークイーン、続いてジャパンカップ制覇が光る5歳のショウナンパンドラという順。しかし勝ったのは、なんと7歳のストレイトガール。前年に続いての見事な連覇達成だった。

ディフェンディングチャンピオンのストレイトガールが7番人気にとどまっていたのは、近2走がともに9着という成績だけではなく、7歳という年齢が嫌われた面も大きかった。かつて7歳牝馬がJRAのGIを勝ったことはなく、6歳牝馬の勝利ですら、ニュージーランドのホーリックスによるジャパンカップ勝ちこそあるものの、JRA所属馬では自身による前年のヴィクトリアマイル制覇が初めてのことだったのだ。

▲マイル女王の座をめざして、各馬4コーナーを回る。

逃げると思われたスマートレイアーを抑え、レッドリヴェールがハナを主張したことで、レースは予想外に速いペースで流れた。さらにはカフェブリリアントが3コーナー手前から動いて一気に上昇し先頭に立つ。緩むところのない激しい流れのまま馬群が直線を向くと、中団のインでロスなく運んできたストレイトガールの目の前に、まるで花道のように進路が開いた。迷わずスパートする戸崎圭太騎手。そこからのストレイトガールの加速は、まさに素晴らしいの一言だった。

残り300㍍で先頭に立つと、ストレイトガールは一気に後続を引き離す。馬群を割ってミッキークイーンが、大外からショウナンパンドラが追い込むが、2馬身半のセーフティリードを保ったままゴール。すべてがうまくいった、完璧な走りによる勝利だった。

驚くべきは、勝ちタイムが6歳で勝った前年より0秒4速く、コースレコードに0秒2差と迫るレースレコードを樹立したことだった。7歳にしてなお盛んな熟女パワーは、香港スプリントを最後に一度は引退が報じられながら、年が明けてから一転、現役続行を決めた廣崎利洋オーナーの決断と、見事な仕上げでそれに応えた藤原英昭厩舎スタッフの努力があってこそのものだった。

▲引退を撤回した7歳馬ストレイトガールが貫禄の連覇達成。

第11回ヴィクトリアマイル(GI)

5/15　東京競馬場　1600㍍(芝・左)　晴・良　18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ストレイトガール	牝7	55	戸崎　圭太	藤原　英昭	1:31.5	⑦	11 10
2	ミッキークイーン	牝4	55	浜中　　俊	池江　泰寿	2 1/2	①	13 12
3	ショウナンパンドラ	牝5	55	池添　謙一	高野　友和	ハナ	②	13 14
4	スマートレイアー	牝6	55	武　　豊	大久保龍志	1 1/4	③	2 3
5	ルージュバック	牝4	55	C. ルメール	大竹　正博	ハナ	④	7 8
6	マジックタイム	牝5	55	H. ボウマン	中川　公成	ハナ	⑥	7 4
7	ウキヨノカゼ	牝6	55	四位　洋文	菊沢　隆徳	1 1/4	⑮	18 18
8	クイーンズリング	牝4	55	M. デムーロ	吉村　圭司	1 1/2	⑤	11 12
9	シュンドルボン	牝5	55	吉田　　豊	矢野　英一	1 1/4	⑫	15 15
10	レッツゴードンキ	牝4	55	岩田　康誠	梅田　智之	1	⑧	9 10
11	ウインプリメーラ	牝6	55	川田　将雅	大久保龍志	クビ	⑩	5 4
12	メイショウマンボ	牝6	55	武　幸四郎	飯田　祐史	2	⑰	15 15
13	ウリウリ	牝6	55	三浦　皇成	藤原　英昭	クビ	⑬	9 8
14	レッドリヴェール	牝5	55	石川裕紀人	須貝　尚介	1 1/4	⑱	1 2
15	カフェブリリアント	牝6	55	福永　祐一	堀　　宣行	4	⑭	3 1
16	ショウナンアデラ	牝4	55	蛯名　正義	二ノ宮敬宇	1/2	⑪	17 15
17	トーセンビクトリー	牝4	55	内田　博幸	角居　勝彦	クビ	⑯	5 7
18	シャルール	牝4	55	横山　典弘	松永　幹夫	3	⑨	3 4

単勝 ⑬1,770円　複勝 ⑬410円 ⑩140円 ⑮170円　枠連(5-7)650円
馬連 ⑩-⑬3,510円　馬単 ⑬-⑩9,790円　ワイド ⑩-⑬1,310円 ⑬-⑮1,790円 ⑩-⑮350円
3連複 ⑩-⑬-⑮6,090円　3連単 ⑬-⑩-⑮48,310円

ハロンタイム　12.3-10.4-11.1-11.9-11.5-11.4-11.3-11.6
通過タイム　600㍍33.8-800㍍45.7-1000㍍57.2-1200㍍1:08.6-1400㍍1:19.9

優勝馬 **ストレイトガール**
2009.3.12生　父フジキセキ　母ネヴァーピリオド　母の父タイキシャトル
浦河・岡本牧場生産　馬主：廣崎利洋HD(株)